【東伊豆町】

校務ＤＸ計画

1.東伊豆町の校務ＤＸの取組について

　東伊豆町では令和７年度に校務用端末を更新する予定である。賀茂郡下1市5町で校務支援事務共同化を図るため、賀茂地域校務支援事務共同化協議会を設置している。

　当町の現行のシステムはネットワーク分離によるオンプレミス型運用におけるＶＰＮであり、学習系で生成されつつある膨大なデータと校務支援システムに蓄積された校務系データとの連携を行っていない。クラウドベースとなっていないため自宅や出張先での校務処理ができないという課題がある。

　校務支援は名簿、出席、成績、保健、学級費管理等。児童生徒の重要な個人情報が蓄積された資料である。当町では学校における校務支援システムの更新について、賀茂地域校務支援事務共同協議会の決定に基づき取組を行っていく。

2.職員会議資料や教材のペーパーレス化の促進

　東伊豆町では、会議資料や教材のペーパーレス化は進んでいる。学校から保護者への連絡は令和５年度に導入した連絡用ツールにてペーパーレスが実現している。

しかし保護者の希望から「給食だより」は紙媒体、「学校だより」といった広報誌についても民生委員、区や地域住民へ紙媒体を配布していることからペーパーレス化が完全にはなされておらず、教職員の事務負担が生じている。

　東伊豆町では校務ＤＸの取組は改善するための課題が多くあるため、望ましい校務の在り方、課題を洗い出し教職員の働き方改革を進めていく。

3.ＦＡＸ・押印の見直しに向けての検討

　東伊豆町４校すべての学校でＦＡＸを活用している。また、すべての学校で、保護者や外部との間で押印・署名が必要な書類がある。

東伊豆町では令和５年度に申請書類の押印省略の見直しを行った。教育委員会としても、学校から提出される申請書類の押印について見直しを行うとともに、押印を求める団体へ慣行の見直しを図るよう働きかけを行っていく予定である。